

5章2節6 地理 A「時差」

熊本県立第二高等学校

教科：[地歴] / 科目名：[地理 A] / [2] 学年対象・[2] 単位																																								
出題する考査	[2] 学期 [中間] 考査																																							
該当する単元等	「時差」																																							
出題意図 (レベル)																																								
<p>【2】時差について、あとの問いに答えよ。</p> <p>問1 次の問いに答えよ。 (1) 日本とエジプト (標準時子午線＝東経30度) の時差を求めよ。 (2) 日本時間で9月28日 (木) 午前9時30分のときのアメリカ合衆国アラスカ州 (標準時子午線＝西経135度) での日時を答えよ。</p> <p>問2 現地時間10月1日午前11時に、都市Xを出発した飛行機が13時間の飛行時間の後、千葉県成田空港に日本時間10月2日の午後3時に到着した。この都市Xが標準時子午線にしている経度を答えよ。なお、サマータイムは考慮しない。</p> <p>問3 次に示す表1のような航空便時刻表があったとする。ニューヨーク (標準時子午線＝西経75度)、シカゴ (標準時子午線＝西経90度)、ロサンゼルス (標準時子午線＝西経120度) の3都市のいずれかを出発し、残り2都市のいずれかを経由して、最後に残った都市に到着するまでの行程を考える。表1中の航空便の中から2便を選び、経由都市では必ず1泊だけするものとして、その経由都市での滞在時間が最も長くなる行程において、利用する航空便の便名を利用する順に答えよ。</p> <p style="text-align: center;">表1 3都市を結ぶ航空便の時刻表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>出発地</th> <th>到着地</th> <th>便名</th> <th>出発地の 出発時刻</th> <th>飛行時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニューヨーク</td> <td>シカゴ</td> <td>A1</td> <td>17:00</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ニューヨーク</td> <td rowspan="2">ロサンゼルス</td> <td>A2</td> <td>6:30</td> <td rowspan="2">6時間</td> </tr> <tr> <td>A3</td> <td>19:30</td> </tr> <tr> <td>シカゴ</td> <td>ニューヨーク</td> <td>B1</td> <td>12:30</td> <td>2時間30分</td> </tr> <tr> <td>シカゴ</td> <td>ロサンゼルス</td> <td>B2</td> <td>19:00</td> <td>4時間30分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロサンゼルス</td> <td rowspan="2">ニューヨーク</td> <td>C1</td> <td>7:00</td> <td rowspan="2">5時間30分</td> </tr> <tr> <td>C2</td> <td>15:00</td> </tr> <tr> <td>ロサンゼルス</td> <td>シカゴ</td> <td>C3</td> <td>17:00</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table>		出発地	到着地	便名	出発地の 出発時刻	飛行時間	ニューヨーク	シカゴ	A1	17:00	3時間	ニューヨーク	ロサンゼルス	A2	6:30	6時間	A3	19:30	シカゴ	ニューヨーク	B1	12:30	2時間30分	シカゴ	ロサンゼルス	B2	19:00	4時間30分	ロサンゼルス	ニューヨーク	C1	7:00	5時間30分	C2	15:00	ロサンゼルス	シカゴ	C3	17:00	4時間
出発地	到着地	便名	出発地の 出発時刻	飛行時間																																				
ニューヨーク	シカゴ	A1	17:00	3時間																																				
ニューヨーク	ロサンゼルス	A2	6:30	6時間																																				
		A3	19:30																																					
シカゴ	ニューヨーク	B1	12:30	2時間30分																																				
シカゴ	ロサンゼルス	B2	19:00	4時間30分																																				
ロサンゼルス	ニューヨーク	C1	7:00	5時間30分																																				
		C2	15:00																																					
ロサンゼルス	シカゴ	C3	17:00	4時間																																				
採点基準 (配点)	<p>全て各2点</p> <p>問3 時差を計算しなくても解けることに気づくことが速く解くポイントになる。</p>																																							
外部からの視点	<p>* 解くのが楽しくなるような課題、必然を作ることが出題のコツです。</p> <p>* 「あなたは旅行者です。世界遺産3か国をめぐるツアーを提案してみましよう。」というようなものはいかがでしょうか？生徒に旅行代理店の企画員としてのポジションや状況を与え、生徒を主役にするとういでしょう。そうすると、問いの語尾が「提案しよう」などに変わり、創造的なニュアンスが強まります。これを重ねていけば、学びが最終的には想像につながっていくのだというイメージ (mind set) を作ることはできるのではないのでしょうか。</p> <p>* 例2 「バンコクの工場に視察に出かけます。バンコクの空港に14時に到着するためには、何時に羽田空港を出発しますか？」</p> <p>* 例3 「ワールドカップの世界大会に行きます。」などなど。</p> <p>* 出題には2つのファクターをいれておくと思考が深まります。問3にもう1つファクターとして燃料の資料データを入れ、活用してはじめてわかるような仕組みにするというのはどうでしょうか？</p>																																							